

四国中央保健所運営協議会の会議結果

会議名称	令和6年度四国中央保健所運営協議会
日時	令和7年2月13日(木) 13:30~14:45
開催場所	四国中央市福祉会館4階多目的ホール
出席者	委員15名(うち代理3名)、事務局(保健所)11名
傍聴者	0名
議題及び 議事内容	<p>所長(招集者)の開会のあいさつ及び委員の紹介に引き続き、全部公開として議事を行った。</p> <p>最初に役員選出を行い、会長に藤田 新 委員、副会長に田淵 委員が選出され、藤田 新会長 により議事の進行を行った。</p> <p>1 議事内容</p> <p>(1) 令和6年度保健所事業報告(各課概要)</p> <p>(2) 令和7年度保健所事業計画について</p> <p>2 質問、意見等</p> <p>○藤田新 委員(会長)</p> <p>【自殺対策事業について】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自殺対策について、対象者の方々が自らSOSを出すのは困難であるため、周囲が気付くことが重要ではないかとの指摘があった。 ・事務局から、最近、家族が困窮しており、誰にも相談できづらい家庭が増えていることから、大人を支援しつつ、学校等とも連携しながら子供も支援するなど、横の連携を密にして対応したいと回答した。 <p>【感染症対策事業(結核)について】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・結核について、保護者がワクチンを打たせたくないという理由で予防接種を受けていない子供が増えていることを危惧しているとの発言があった。 ・事務局から、市保健センターと連携しながら、予防接種の利点について、十分に説明していくことが重要と考えている旨を回答した。 <p>【災害医療対策について】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今後の南海トラフ地震が発生した際には、四国中央市は、地理的にも横に広いため対応が難しいのではないかとの話があった。 ・事務局から、能登半島地震など過去の課題・教訓を生かし、多職種連携を進めるため、平時から顔の見える関係づくりが必要であると回答した。 <p>○高橋ハツミ 委員</p> <p>【健康増進対策について】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・働き盛りの方々の健康維持について、保健所から分かりやすい啓発を行うよう要望があった。 ・事務局から、市の保健センターと連携しながら行いたいと回答した。

○北川哲也 委員

【自殺対策事業について】（藤田会長の質疑等を踏まえ）

- ・自殺対策について、本院四国中央病院は公立学校の職域病院であるので、学校の先生のメンタル対策に力を入れており、今年度から臨床心理判定士を3名増加するなど対応しているとの説明があった。

○高橋洋一 委員

【子どもの窒息対策について】

- ・子どもの窒息対策について、保健所とも共働で研修等の取組をしており、今後も協力して行っていきたいとの発言があった。

○香川七俊 委員

【薬物乱用防止について】

- ・オーバードーズについて、保健所の取組状況等について質問があった。
- ・事務局から、学校からの希望に応じ「薬物乱用防止教室」でオーバードーズについても説明を行っている」と回答した。

○尾崎智恵子 代理（篠原実 委員）

【令和7年度保健所事業計画について（関係者間連携）】

- ・今後とも各種推進計画に基づいて、保健所と市が一体となって、対応していきたいとの発言があった。

事務局

四国中央保健所企画課企画・医療対策グループ 担当係長 塩見 隆
電話 0896-23-3360 FAX 0896-28-1043